

古建築と季節の花々の美しいハーモニーを楽しめる 横浜・三溪園 「三溪園カレンダー2026」発売

国指定名勝「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、2025 年 11 月 5 日(水)に「三溪園カレンダー2026」を発売します。

今回の表紙は、三溪園の魅力を広く発信していくことを目的に開催している「三溪園フォトコンテスト」の審査員でもある森日出夫氏（日本写真家協会会員）の作品です。各月の写真は、「三溪園フォトコンテスト」歴代入賞作品から選定しました。撮影者のみなさまが思い思いの一瞬を切り取った作品からは、春夏秋冬、季節ごとの三溪園の表情をお楽しみいただけます。また、園内に咲く花の見頃やイベントの開催時期なども併せてご紹介しています。



販売概要

- 販売期間 | 2025年11月5日(水)～ * 完売次第終了
- 販売場所 | 正門案内所
- 販売時間 | 9:00～16:15
- 販売部数 | 1,000 部
- 販売部数 | 1,100 円（税込）
- 仕様 | A4 判（A3 中綴じ冊子型）

2025 年（令和 7）10 月 29 日

公益財団法人 三溪園保勝会

三溪園フォトコンテストとは

三溪園では 1 年を通して、ご来園いただいた皆様の心に残る風景、楽しかった記憶、印象的な一瞬、思い出の情景など、三溪園の魅力をとらえた写真作品の応募をお待ちしています。また、プロカメラマンによる審査によって選ばれた入賞作品は、年始から春にかけて三溪記念館で展示しています。

直近の実施概要

【第35回三溪園フォトコンテスト入賞作品展】

2025 年度の応募作品から選ばれた入賞作品を展示します。

会 期 | 2026 年 1 月 1 日（木・祝）～ 5 月 18 日（月）

会 場 | 三溪記念館

主 催 | 公益財団法人三溪園保勝会

協 賛 | 神奈川県カメラ写真商組合

三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって創られ、1906 年（明治 39）5 月 1 日に一般公開されました。約 17.5ha（東京ドーム約 3.7 個分）に及ぶ園内には、廃仏毀釈などによる荒廃から守るため、京都や鎌倉などから移築された歴史的価値の高い建造物が巧みに配置されており、古建築と自然が調和した四季折々の景色が楽しめる日本庭園です。開園当初は「遊覧御随意」を掲げ外苑を 24 時間無料開放するなど、「美しいものはみんなで一緒に楽しむもの」という原三溪の想いが反映されています。原三溪の存命中は新進芸術家の育成と支援の場ともなり、横山大観、下村観山、前田青邨らを輩出するなど、日本美術への貢献も評価されています。戦災により大きな被害をうけ、1953 年（昭和 28）に原家から横浜市に譲渡されるのを機に財団法人三溪園保勝会が設立され、現在に至ります。2007 年（平成 19）には国の名勝に指定され、現在園内にある 17 棟の古建築のうち 10 棟が重要文化財、3 棟が横浜市指定有形文化財に指定されています。

施設概要

施設名	三溪園(さんけいえん)
運 営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
公式 HP	https://www.sankeien.or.jp
Instagram	https://www.instagram.com/sankeien_garden
X	https://twitter.com/HSankeien
入園料	大人 900 円／小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 700 円(本人確認書類の提示が必要)
開園時間	9：00～17：00(最終入園 16：30)
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分



本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 企画広報課 高橋・門脇

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343

MAIL：websupport@sankeien.or.jp